

二〇二三年五月一九日

麦秋や河童伝説のこる郷

あひる

新茶汲む夫唱婦随に半世紀

満天

二〇二三年五月一八日

樹下涼し三鈴の松にハート絵馬

なつき

いづぞやの金魚のおもちゃ溝浚え

豊実

町薄暑近道塞ぐブルドーザー

せいじ

豆画伯らが画架立つる若葉道

むべ

二〇二三年五月一七日

草藤の波うちやまぬなぞへかな

明日香

人影のなき炎天の漁師町

みきお

海風が頬を撫でてゆく野良涼し

千鶴

いつも買ふ豆腐売り切れ夕薄暑

満天

雨後の朝袖を濡らして苺摘む

豊実

二〇二三年五月一六日

ローカル線涼し窓過ぐ景もまた

せいじ

杉桶に味噌の香染みる蔵涼し

なつき

竹林の小径縫ひゆく風涼し

素秀

二〇二三年五月一五日

母の日や子供の数の花届く

もところ

子燕の押しくらしつつ糞落とす

満天

雨蛙囲み道草小学生

きよえ

二〇二三年五月一四日

母の日やかの日 of 悔ひの今もなほ

やよい

母の日や息子ふらりときて帰る

宏虎

二〇二三年五月一三日

出来不出来一喜一憂夏野菜

明日香

毎日句会みのる選・二〇二三年五月二日